



横浜市立川和東小学校
校長 高島 聡

校庭のクスノキが、五月の風に大きくゆれています。新しい学年が始まりあつという間に1か月が経過しました。新しい出会い、新しい生活、新しい…になれましたか。なれるスピードは人それぞれです。だれかとくらべるのではなく、毎日、がんばっている自分をみとめて笑顔で毎日をすごせるといいですね。いつも保健室から応援しています。



～わたしのけんこうはみんながつくる

みんなのけんこうはわたしがつくる～

『けんこう』は、だれがつくるのでしょうか。

保健室の先生？おうちの人？担任の先生でしょうか？校長先生かも…。養護教諭として、このように考えています。



◎『わたしのけんこうは、みんながつくる』

☆低学年では、保護者が中心となり、お子様がもっと健康になるために規則正しい生活習慣の基礎作りが重要になります。食事、運動、休養・睡眠、清潔等毎日の生活の仕方がお子様の心身の健康の基礎を作っています。

◎『みんなのけんこうは、わたしがつくる』

☆中学年から高学年では、お子様自身が自分の健康づくりに関心を持ち、各家庭で教えてもらった知識や行動を主体的に実践していくことが重要です。また、お子様たちは、学級や学校全体の健康づくりへ発信したり学級で取組んだりして深め広げていきます。さらに、この時期は、健康や医療に関する正しい情報入手し理解して活用する能力（ヘルスリテラシー）も身に付けられるように保健学習を進めていきます。

『6年間の小学校生活』において、その先の中学校生活を見据えて、自分の健康を自分でつくるだけでなく、他者のことも思い合い協働的に健康づくりの輪が広げられるような子の育成を目指します。



5月8日から新型コロナウイルス感染症は、5 類感染症になりました。これまで感染対策にご協力をいただいた保護者の皆さま、子どもたちに心から感謝申し上げます。

さて、先日、学校 HP に『5月8日以降の学校における新型コロナウイルス感染対策について』という通知が掲載されました。以下の文書は、その内容の一部です。ご確認くださいませと幸いです。

1 基本的な感染症対策について

- 引き続き、「手洗い」、「咳エチケット」などの感染症対策を行っていきます。
- 換気については、当面の間、常時換気を行うこととします。夏季や冬季、荒天時など常時換気が難しい時は、各クラスに設置してあるCO2モニターを活用しながら、適切に換気のタイミングを図っていきます。
- ご家庭・学校それぞれの児童の健康観察は継続しますが、ロイロノートでの健康観察は必要ありません。発熱や咽頭痛、咳など普段と異なる症状がある場合等には登校を控え、自宅で休養いただきますようお願いいたします。欠席の際にはロイロノートで報告をお願いします。

2 感染流行期の感染症対策について

- 新型コロナウイルス感染症に限らず、季節性インフルエンザ等も含めて、感染症が流行している場合などには、基本的な感染症対策に加えて、
・学校教育活動において、大声での会話を控える、身体的距離の確保
などの感染症対策を、状況に応じて行います。
- 感染流行期には、教職員がマスクを着用する又は児童にマスクの着用を推奨することも考えられます。ただし、マスクの着用を強いることが無いように対応していきます。

3 出欠席の取扱いについて

- 児童が医師の診断や新型コロナウイルスの検査で、陽性が判明した場合は、学校保健安全法第19条による出席停止となりますので、速やかに学校へご連絡をお願いします。
- ご家庭での濃厚接触者相当の取扱いはなくなります。
- 感染が不安で休ませたいと相談があった児童について、同居家族に高齢者や基礎疾患がある方がいるなどの事情があり、他に手段がない場合など合理的な理由があると判断する場合は、学校長判断で欠席にはなりません。



◎健康診断の結果、『受診のおすすめ』が必要な場合のみ受診勧告書をお渡しします。
それ以外の場合は、夏休み前に健康手帳を配付しますのでご確認ください。